



1937 1941

歴史概要



国立美術館は、財政家、美術品コレクター、そして公務員でもあったアンドリュー・W・メロンの寄付を受け、1937年に連邦議会が共同決議で米国民のために設立しました。同氏は、巨匠の手になる歴史的絵画や彫刻などを寄付するのみならず、「モール」に新しく美術館の機能をもつ建物を建造するための資金提供もしました。こうして完成した当国立美術館は、1941年3月17日、米国民を代表し、フランクリン・D・ルーズベルト大統領により寄贈の一部として受領されました。その翌日に一般公開されたこの壮大な建物は、ジョン・ラッセル・ポーブによって設計されたもので、現在、西館と呼ばれている部分ですが、開館当時は世

界最大を誇る大理石の建築物でした。アンドリュー・W・メロンは、国立美術館が新しく創設されたことによって、他のコレクターが高品質の美術品を寄贈する契機になることを望みましたが、その後、多くの民間人がヨーロッパやアメリカ美術を寄贈することとなり、その望みは実現されました。創設に寄与した貢献者の中には、サミュエル・H・クレス、ルース・H・クレス、ジョセフ・ワイドナー、チェスター・テール、アリサ・メロン・ブルース、レッシング・J・ローゼンワルドやポール・メロンが名を連ねています。それ以来今日まで、何百人という篤志家や芸術家の方々の惜しみのない貢献が続いています。

場所

当館は、N.W.3番通りと9番通りの間の Constitution Avenue に位置しています。東館と西館は、動く歩道のある地下コンコースで接続されています。

郵便物宛先

National Gallery of Art
2000B South Club Drive
Landover, MD 20785

観覧料

常時無料

開館時間

東館と西館 (East and West Buildings)
クリスマスと元旦を除いて毎日開館
月曜日から土曜日、午前10時から午後5時まで
日曜日、午前11時から午後6時まで

彫刻の庭 (Sculpture Garden)

同上。但し、夏季(5月最終月曜日のメモリアル・デーから9月第1月曜日のレーバー・デーまで)は以下の通り時間延長
月曜日から木曜日、および土曜日、午前10時から午後7時まで
金曜日、午前10時から午後9時まで
日曜日、午前11時から午後7時まで

アイス・スケート場 (Ice-skating)

冬季営業(11月中旬から3月中旬まで、悪天候を除く)
月曜日から木曜日、午前10時から午後11時まで
金曜日と土曜日、午前10時から深夜12時まで
日曜日、午前11時から午後9時まで

調査室 (Study Room)

予約が必要です
月曜日から金曜日の午前10時から午後12時、および、午後2時から4時まで
国の祝祭日は休館

予約のための電話番号

西館：アメリカの版画と素描 (202-842-6605)；ヨーロッパ巨匠による古典ブロンズ作品 (202-842-6093)；写真 (202-842-6144)。
東館：ヨーロッパの版画と素描 (202-842-6380)。

美術研究図書館 (Art Research Library)

中世期から現在までの西洋美術に関する250,000冊の書籍・雑誌のコレクション。美術文献を研究される方であれば、月曜日午後12時から4時30分、火曜日から金曜日の午前10時から午後4時30分の時間帯に、予約制にてご利用いただけます。予約は202-842-6511までお電話ください。

東館 (East Building)

ここでは、近代・現代美術の常設コレクション展、および、企画展が催されます。大講堂と小講堂は、コンコースの階にあります。図書館、視覚芸術専門研究センター、事務所、および、ヨーロッパ版画・素描の調査室は、管理・調査センター内にあります。

コンコース (Concourse)

西館と東館を結ぶ地下コンコースには、キャスケード・カフェ、エスプレッソ&ジェラートバー、書店、および、キッズ・ショップがあります。

西館 (West Building)

メインフロアーには13世紀から19世紀のヨーロッパ美術と、植民地時代から20世紀初期のアメリカの絵画・彫刻が展示されています。1階には版画や絵画、写真などが収蔵され新しく改築されたギャラリーや、彫刻や装飾美術ギャラリー、アメリカ版画・絵画、写真、ブロンズ像の調査室、その他西館講義ホール、アーモンド・ハマー・ギャラリー、ガーデン・カフェ、ギャラリー・ショップ等がございます。西館の一部ギャラリーでは、特別企画展が催されます。

彫刻の庭 (Sculpture Garden)

彫刻の庭は、年々拡大されていく当館の20世紀彫刻コレクション、および、他美術館からの借入れである彫刻作品を展示するため、柔軟性に富んだ空間となっています。カジュアルでありながら優雅なたたずまいのこの庭園内に、近代・現代の彫刻が展示されています。彫刻の庭には、冬にはアイススケート場となる鏡池と噴水、また、室内屋外で食事を楽しむことができるパビリオン・カフェがあります。彫刻の庭は、車椅子でも通行しやすいです。



1999

国立美術館は、国が所蔵する欧米の重要作品を展示・保存・理解するという使命を果たすために、公益的な貢献と民間の社会貢献活動の協力体制に支えられています。創立以来、当館が所蔵する国の公共コレクションの保護と保存、および通年 363 日無料で開館、という運営・維持の方針は、

連邦の補助金によって助成されています。一方、民間部門は、欧米の名作の数々を寄贈し、名だたる美術コレクションを作りあげました。また、2つの歴史的な建築物、新しい彫刻ギャラリーと彫刻の庭の建設を資金的に支援し、また、連邦資金とともに、多様なプログラムや特別企画展を可能にできました。

手話通訳や視聴覚障害者の方のためのガイドは、常設展および企画展示双方で用意しております。レコーダーで聞ける全ての館内ツアーは耳の不自由な方のための音声ガイドもあり、また、企画展によっては大きな活字のパンフレットを提供している場合もあります。デジタル音響による特別ヘッドフォンもご利用いただけます。尚、企画展関連で上映される映画は字幕付きです。

その他のお問い合わせは、当館のホームページをご参照ください。電話でのお問い合わせは、月曜日から金曜日の午前 10 時から午後 5 時まで、202-842-6179 にて承ります。聴覚障害者のための通信補助機器によるご連絡は、202-842-6176 までお願いいたします。

美術案内デスク

美術案内デスクは、すべての一般用入口近くに設けられています。

トイレと電話

トイレと電話は、入口ロビーやレストラン周辺にあります。付き添いが必要な方向けの家族用のトイレもご利用いただけます。場所は、地図でご確認ください。

救急室

警備員が手当ての必要な方を直接お連れします。

美術館規則

入館時、全所持品の検査を受けなければなりません。当館の警備員の指示があれば、検査後、バッグやリュック、傘、荷物、その他の所持品を、各入口近くにある無料の荷物預かり所に預けなければなりません。ノート型パソコンやカメラ、毛皮などの貴重品は、預けずに館内に持ち込むことが許されることもあります。ノート型パソコンの場合は、一時持込許可書に記入するよう求められます。

大きめのバッグやリュック、手荷物等は、すべて、東館・西館のどちらかの 4 番通り側入口近くの荷物預かり所に預けるようになっております。お預かりする前に、金属探知機を通すようになっております。

17 インチから 26 インチ (43.18 cm から 66.04 cm) 以上の手荷物は、当館の荷物預かり所ではお引き受けできませんので、あらかじめご了承ください。

国の警戒態勢が厳重化されている時には、上記以外にも治安上の手順や検査が設けられることがあります。

乳児を前で抱く布製バンド式のベビーキャリアーは許可されていますが、子供を肩車したり、背中で背負うタイプのもは禁止されています。幼児ストローラーは、各荷物預かり所近くで、無料で貸し出しています。

飲食エリア以外の場所では、飲食は禁止されています。

当館は禁煙となっております。

当館内での携帯電話の使用はご遠慮ください。盲導犬を除いて他の動物を館内へ連れて入ることはできません。スケートボードの使用は禁じられています。



写真撮影

企画展や、特別に撮影が禁止されている場所以外での、個人的な使用目的における撮影（静止画・ビデオ）は許可されています。三脚台の使用は禁止されています。

作品には手を触れないでください。

カバー
レオナルド・ダ・ビンチ
Ginevra de' Benci
c.1474、パネルに油彩
国立美術館、アリサ・メロン・ブルース基金

折り返し部分
Constitution Avenue
から見た国立美術館の概観
© テニス・ブラック /
ブラック・スター

左上端
1939 年の西館建設中の写真

左上
東館の写真
© テニス・ブラック /
ブラック・スター

上
彫刻の庭の鏡池と噴水の概観
© テニス・ブラック /
ブラック・スター



1978

当美術館の東館は、もともとの共同決議によって当館の拡張用地とされていた場所にあり、近代・現代絵画や彫刻、版画、素描などのコレクションが所蔵されているのに加えて、最先端の調査・研究センターや事務所、また、美術資料図書館などがございます。この建物は、I. M. ペイが設計し、1978年6月1日にジミー・カーター大統領が国を代表して受入れ、オープンしました。建設費用は、創設者の子息・令嬢のポール・

メロンとアリサ・メロン・ブルース、及び、アンドリュー・W・メロン財団から提供されました。彫刻の庭は、1999年5月23日に一般公開されましたが、当館の近代・現代彫刻の所蔵品を展示するために、独特の景観デザインが施されています。庭園建設費、そして彫刻作品数点は、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団の寄贈によるものです。



レストラン (Restaurant) 🍴

コンコース

キャスケード・カフェ：月曜日から土曜日、午前11時から午後3時まで；日曜日、午前11時から午後4時まで

エスプレッソ&ジェラート・バー：月曜日から土曜日、午前10時から午後4時30分まで；日曜日、午前11時から午後5時30分まで

西館、1階

ガーデン・カフェ：月曜日から土曜日、午前11時30分から午後3時まで；日曜日、午後12時から4時まで（コンサート・シーズンの10月から6月は、午後6時まで）

彫刻の庭

パピリオン・カフェ：

夏季（5月最終月曜日のメモリアル・デーから9月第1月曜日のレーバー・デーまで）：月曜日から木曜日と土曜日、午前10時から午後6時；金曜日、午前10時から午後8時；日曜日、午前11時から午後6時

冬季（11月中旬から3月中旬）：月曜日から土曜日、午前10時から午後9時；日曜日、午前11時から午後8時

春／秋季（3月中旬からメモリアル・デーまでと、レーバー・デーから11月中旬まで）：月曜日から土曜日、午前10時から午後4時；日曜日、午前11時から午後5時

ギャラリー・ショップ

コンコース

幅広い分野の美術書や展覧会カタログ、当館出版の書籍、また、キッズ・ショップでは子供向けの本、教育用玩具やゲームなど、豊富に取りそろえております。

西館、1階

絵葉書、複製品、文房具、アクセサリやスカーフ、その他のギフト商品があります。

無料ギャラリー・ツアー、家族向け催し、講座、映画、コンサート等

案内や日程は、美術館入り口にある美術案内デスクか、当館のホームページ www.nga.gov で入手可能です。当館の隔月イベント・カレンダーの郵送は、美術案内デスクか、電話番号 202-842-6662 まで、お問い合わせください。

オーディオ機器による音声ガイド

館長によるツアー、常設展示のハイライト、美術探検、オランダ・フランドル派ギャラリーの家族向けツアーは、西館モール側入口で貸し出しております。企画展の音声ガイドが提供されている場合には、企画展示ギャラリーの入口で借りることができます。補聴用ヘッドフォンや、大きめの活字表示の機器も用意しております。団体予約は 202-842-6592 までお問い合わせください。

セルフガイド・ツアー

個人で作品を鑑賞したり、ツアーを自分で組みたい方は、西館の美術案内室にある、インターアクティブ・コンピューター・システムを備えたマイクロ・ギャラリーをご利用ください。また、美術案内デスクで、大人・家族向けのポストカード・ツアーを借りることもできます。その他、展示室によってある名画説明プラカード、ギャラリー・ショップで案内書や歩くツアーの本などを求めることもできます。

www.nga.gov

当館のホームページでは、常設展および過去・現在の企画展、プログラムやイベント、教材関連情報や子供向けの催し物活動、当館訪問を計画される際のアイデアなど、多彩な情報、また、インターネット・ショッピングも提供しています。

身体の不自由な方のための情報 🚻 🗺️ 🚗

西館へは、6番通りと Constitution Avenue 側入口、東館へは、4番通り側入口が、それぞれ車椅子の方が通行しやすいスロープになっています。両入口とも常時アクセス可能です。車椅子は、すべての入口で先着順に貸し出しています。

障害者アクセスの国際シンボルマークが提示されている車両は、東館前の4つの優先駐車スペースをご利用ください。駐車スペースがない場合は、警備員にお尋ねください。

展示室や公共スペース、トイレは、エレベーターでアクセスできます。東・西館の案内地図をご参照ください。彫刻の庭も車椅子で常時アクセス可能です。

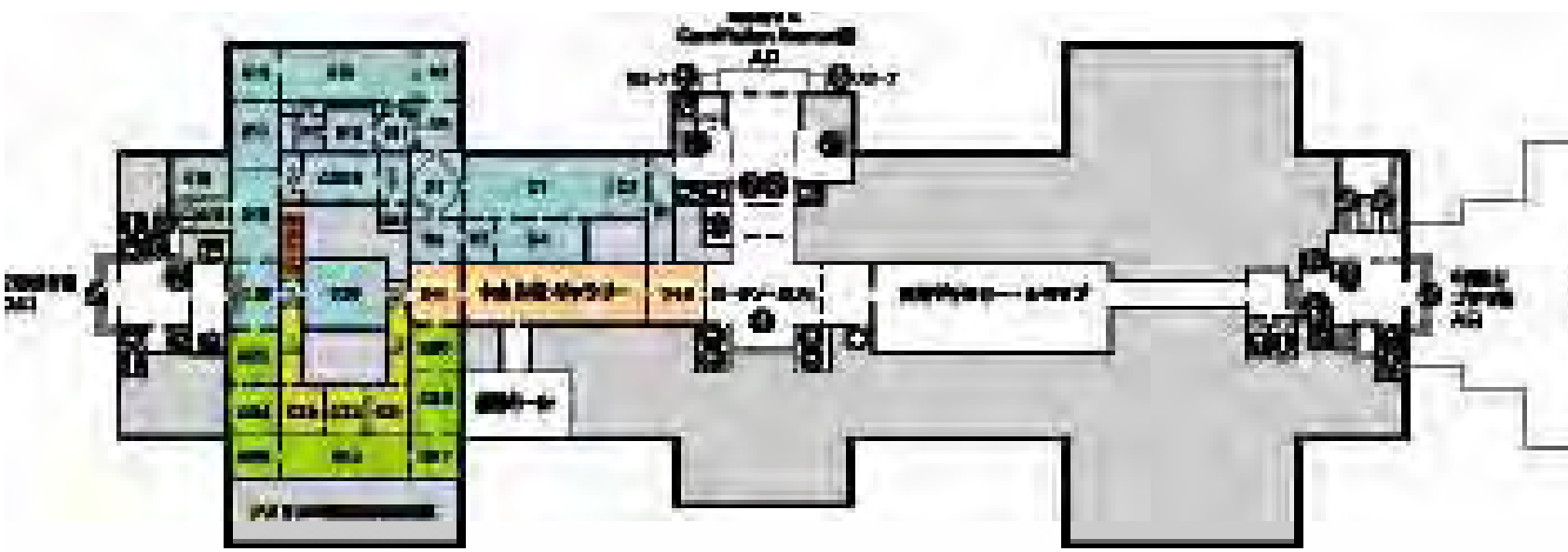
大・小講堂用の補聴機器は、東館1階の美術案内デスクで貸し出しています。西館講義ホールで使用できる補聴機器は、西館の Constitution Avenue 側入口1階にある、美術案内デスクで貸し出しています。

案内図

- | | | | |
|------------------------------|---------------------------------|---|------------------------------------|
| 男性用トイレ（身障者の方は補助が必要な場合もあります。） | Checkroom
荷物預かり所 | First Aid
救急室 | Café or Food Service
カフェ、レストラン等 |
| 女性用トイレ（身障者の方は補助が必要な場合もあります。） | Art Information Desk
美術案内デスク | Distribution of Assistive
Listening Device
補聴機器の貸出し | 身障者用のアクセス |
| 家族用トイレ（付き添いの補助が必要な方用です。） | TDD Phone
TDD 電話 | Elevator
エレベーター | Stairway or Step
階段、または、段差 |
| Telephone
電話 | Escalator
エスカレーター | Non-public area
従業員専用エリア | |

常設コレクション

- | | | | |
|--|--------------------------------|--------------------------------------|--|
| 13世紀から15世紀イタリア
ギャラリー 1-15 | 17世紀オランダ・フランドル派
ギャラリー 42-51 | アメリカ
ギャラリー 60-60B、62、64-71 | 写真ギャラリー
G30-G34 |
| 16世紀イタリア・スペイン
ギャラリー 16-28 | 18世紀と19世紀スペイン
ギャラリー 52 | 19世紀フランス
ギャラリー 80-93 | 彫刻ギャラリー
G1-G21、G37-G40 |
| 17世紀イタリア・スペイン・
フランスと18世紀イタリア
ギャラリー 29-34、36-37 | 18世紀と19世紀初期フランス
ギャラリー 53-56 | アーモンド・ハマー・ギャラリー
版画と素描
G22-G22A | 企画展
ギャラリー 72-79、G23-G34、
G41-G43、東館上階、中2階、
1階 |
| 15世紀から16世紀オランダと
ドイツ
ギャラリー 35-35A、38-41A | イギリス
ギャラリー 57-59、61、63 | 版画と素描ギャラリー
G23-G29 | 近代・現代
東館、タワー、上階、1階、
地下コンコース |

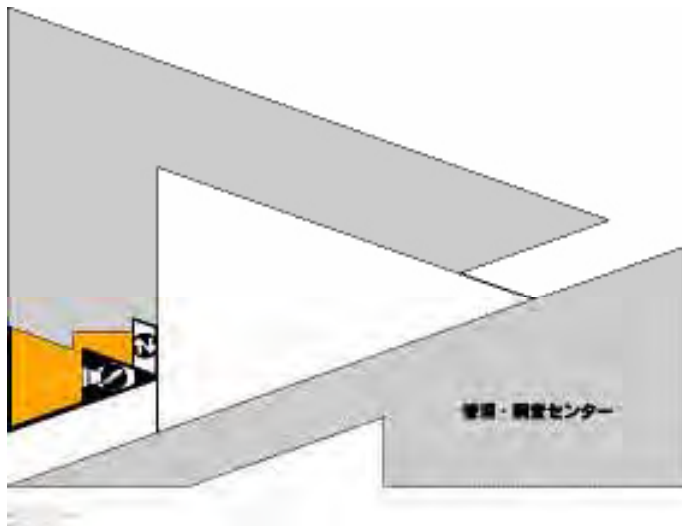
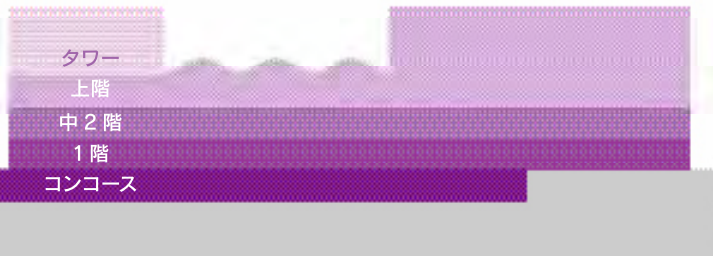


注意：

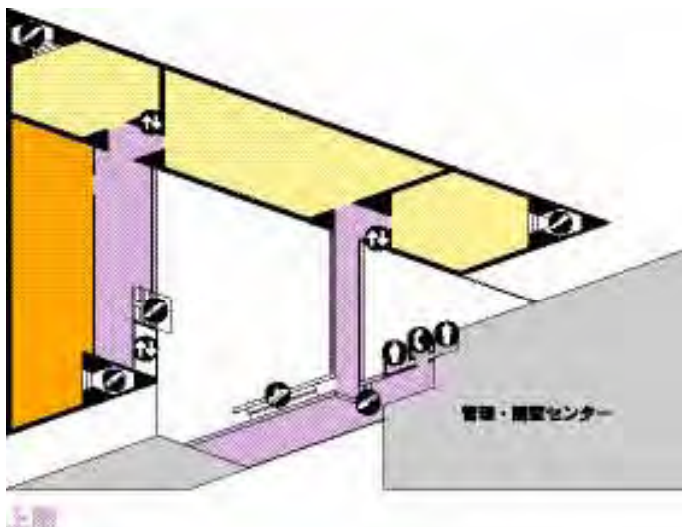
今後数年にわたる改築工事のため、一部展示室が閉鎖されることがあります。詳細は、美術案内デスクまでお尋ねください。



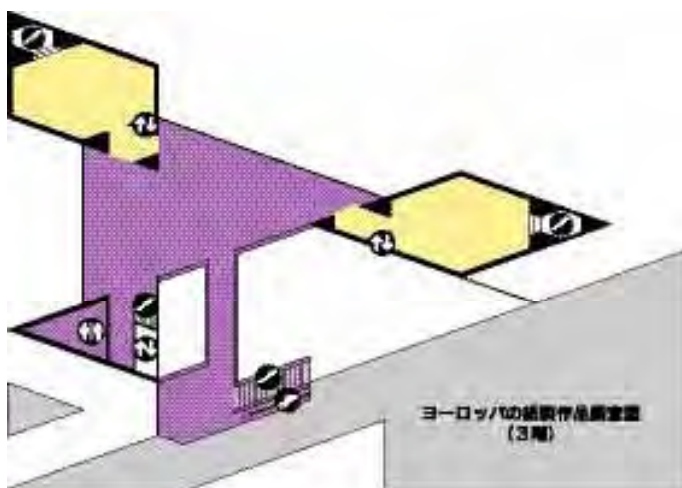
東館



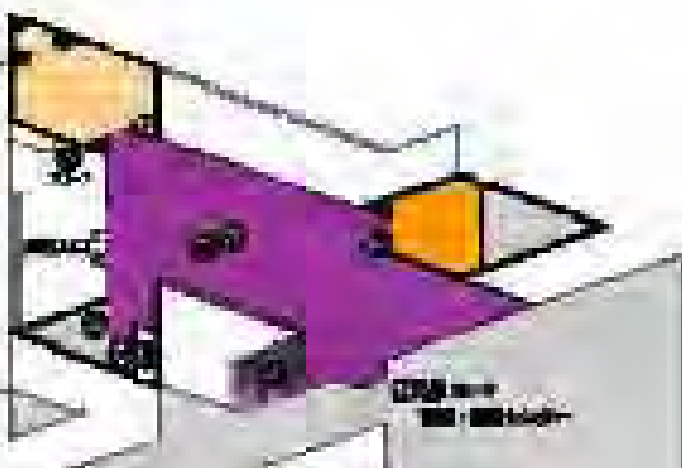
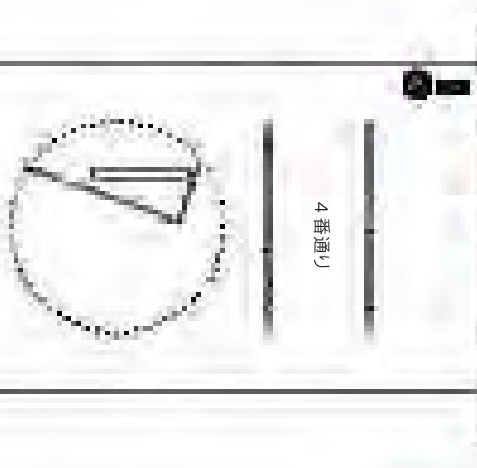
タワー
近代・現代美術
エレベーター
上階への階段



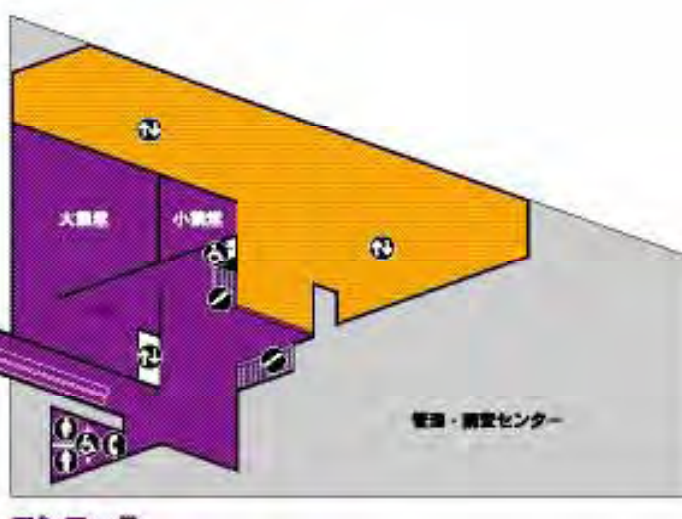
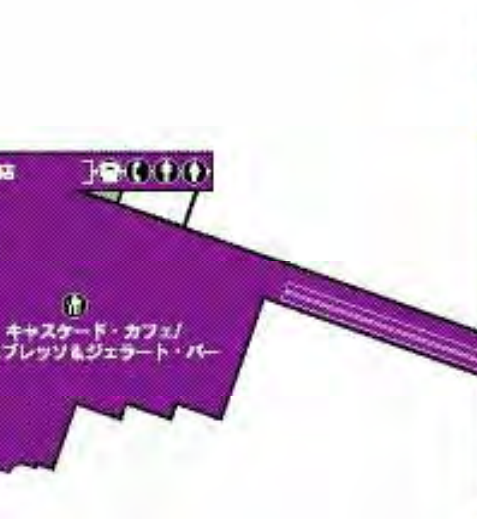
上階
特別企画展ギャラリー
近代・現代美術
エレベーター
タワーと中2階への階段
中2階へのエスカレーター



中2階
特別企画展ギャラリー
エレベーター
1階への階段
上階へのエスカレーター



1階
4番通り側入口
荷物預かり所
美術案内デスク
フランス小絵画
近代・現代美術
美術資料図書館
エレベーター
コンコースと中2階への階段



コンコース
大講堂
小講堂
近代・現代美術
西館への地下連絡通路
キヤスケード・カフェ/エスプレッツ&ジェラート・バー
コンコース書店
キッズ・ショップ
エレベーター
1階への階段

コンコース

彫刻の庭

- 1 クレス・オルデンバーグ (米国、1929年スウェーデン生まれ) とコーシエ・ファン・ブルッヘン (米国人、1942年オランダ生まれ)、Typewriter Eraser, Scale X、1999年、ステンレス・スチールとセメント、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 2 ホアン・ミロ (スペイン、1893-1983)、Personnage Gothique, Oiseau-Éclair (Gothic Personage, Bird-Flash)、1974年、鑄造 1977年、青銅、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 3 ルイズ・ブルジョア (米国、1911年フランス生まれ)、Spider、1996年、鑄造 1997年、硝酸銀処理緑青付き青銅、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 4 マグダレーナ・アバカノヴィッチ (ポーランド、1930年生まれ)、Puellae (Girls)、1992年、青銅、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 5 マーク・ティ・スベロ (米国、1933年生まれ)、Aurora、1992-1993年、スチール、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 6 スコット・バートン (米国、1939-1989)、Six-Part Seating、1985-1998年、磨き御影石、コレクターズ・コミティー寄贈
- 7 ジョエル・シャピロ (米国、1941年生まれ)、Untitled、1989年、青銅、コレクターズ・コミティー寄贈
- 8 エルズワース・ケリー (米国、1923年生まれ)、Stele II、1973年、1インチのウエザリングスチール、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 9 バリー・フラナガン (イギリス、1941年生まれ)、Thinker on a Rock、1997年、青銅、ジョン・アンド・メアリー・パバジョーン寄贈
- 10 ソル・ルウィット (米国、1928年生まれ)、Four-Sided Pyramid、1999年、1997年に最初の展示、コンクリートブロックとモルタル、ドナルド・フィッシャー家寄贈
- 11 ルーカス・サマラス (米国、1936年ギリシャ生まれ)、Chair Transformation Number 20B、1996年、緑青付き青銅、ナンシー・リー・アンド・ベリー・バス基金
- 12 トニー・スミス (米国、1912-1980)、Moondog、1964/1998-1999年、塗装アルミニウム、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 13 デイビッド・スミス (米国、1906-1965)、Cubi XXVI、1965年、スチール、アリサ・メロン・ブルース基金
- 14 アレクサンダー・カルダー (米国、1898-1976)、Cheval Rouge (Red Horse)、1974年、塗装薄金属板、カルダー財団ニューヨーク提供
- 15 ロイ・リキテンスタイン (米国、1923-1997)、House I、1996/1998年、加工・塗装アルミニウム、モリス・アンド・グウェンドリン・カフリッツ財団寄贈
- 16 ジョージ・リッキー (米国、1907-2002)、Cluster of Four Cubes、1992年、ステンレス・スチール、ジョージ・リッキー・アンド・パトロンス・パーマネント基金寄贈
- 17 エクトル・ギマール (フランス、1867-1942)、An Entrance to the Paris Metropolitan、着想 1902年、作成 1902/1913年、塗装鑄鉄と青銅、ロバート・P・アンド・アーリーン・R・コーゴッド寄贈

